

SSH事業運営指導委員会

SSH事業では、研究開発・SSH事業全体が上手く実施されているか、について客観的な**指導・助言・評価**を行っていただく運営指導委員会が年2回開催されます。第1回目となる運営指導委員会が令和6年7月5日(金)に開催されました。

SSH事業が始まって初の運営指導委員会でしたが、厳しくも温かさのある御指導、御助言を頂きました。これらを基に生徒、教員にとってより良い事業になるようにブラッシュアップしていかなければなりません。

今回の運営指導委員会

- 令和7年2月7日(金)
- 終日実施予定(午前:課題研究発表会、午後:運営指導委員会)

学校全体で、**楽しみながら**SSH事業に取り組んでいきましょう!

サイエンス合宿in御池

7月23日(火)～7月26日(金)にかけて理数科生1年生はサイエンス合宿に行ってきました。

SSH事業の一環で「霧島ジオパークでのフィールドワークを通して、『本物』に触れることで、五感で捉え、心が動かされるような**体験**をし、探究心を高めるとともに**探究プロセスの獲得**と次年度の探究活動へ繋がる地元発信の『**科学の種**』を獲得する。「異学年との体験活動をともにすることで、**知の継承**や研究のノウハウの継承を行い、**探究活動の底上げを図る**」という目的のもと、3泊4日で行われました。この4日間は、

『**キーワードの設定**』、『**問い作り**』、『**仮説立て**』を体験活動の中でを行い、探究のプロセスの獲得を目指しました。

サイエンス合宿1日目

初日は高千穂河原ビジターセンターで霧島ジオパークの歴史や文化等を学んだ後に、えびのエコミュージアムで霧島山の特徴、生物、植物の多様性について学び、実際に霧島山周辺の**フィールドワーク**を行いました。また、夜には**高崎天文台の蓑部樹生先生**による講義が行われました。夜は生憎の雨となり星空は観測できませんでしたが、生徒の感想には「この講義で宇宙を見る目が広がった」という**前向きなもの**が多数書かれていました。



フィールドワークで観察した火口湖(六観音御池)と、天体観測での代表生徒による挨拶の写真です。

サイエンス合宿2日目

二日目は、前日に学んだ破局噴火による加久藤カルデラを白鳥展望所で眺め、享保水路のフィールドワークに向かいました。フィールドワークでは**宮崎大学の竹下伸一准教授**に案内をしていただき、用水路が「なぜ最短経路ではなく迂回したか」という**問い**を持ちながら用水路周辺の地形や歴史を**探究**していました。フィールドワーク後は宿泊施設へ戻り、**火おこし体験①**と**野外炊飯**を行いました。初めてのまいぎり式の火おこしに**苦戦**しながらも諦めずに**挑戦**を繰り返していました。夜は振り返りとポスター作成を行いました。



左の写真が享保水路の写真です。竹下准教授は「用水路萌え」という言葉をよく使われていました!生徒が積極的に、**疑問**に感じたことを質問しに行っており充実したフィールドワークとなりました。

サイエンス合宿3日目

3日目は野鳥の森で植物や生物の多様性、周囲の地形に着目したフィールドワークを行いました。この日から**中学生(2・3年生)**も加わり、高校生と中学生が**対話**をしながら取り組んでいました。午後からは**火おこし体験②**と野外炊飯を、**中・高混在の班**で実施しました。2回目の火おこしは、きりもみ式で行う予定でしたので苦戦するかと思いきや、生徒たちの中にはあっさりと火を付ける班もありました。野外炊飯も昨日の失敗等を活かし、手際よく行っていました。夜は最終日のポスター発表へ向けて班活動を行いました。



野鳥の森では人生で初めてヒルに血を吸われる経験をした生徒や5月のフィールドワークの**経験**からシラスの地層とそこに堆積している別年代の地層を**比較**して考察をしている生徒もいました。また、火起こしでは前日より**気象条件や道具の影響**により難易度が高いものとなっていましたが、**諦めず何度も挑戦し火種**を生み出していました。まさに**レジリエンス**が発揮された活動でした。

サイエンス合宿4日目

最終日は御池少年自然の家でポスター発表会を行いました。サイエンス合宿の4日間のまとめを行いました。本校では初めての異学年による宿泊研修でもありましたので、今後の「**知の継承**」にも大いに期待したいところです。



今回のサイエンス合宿を通して生徒だけでなく、我々教員もたくさん心が揺さぶられるような「**体験**」を味わうことができました!

今回の合宿では、ポスター発表の際に発表者と聴衆との間で議論している場面が多くみられました。このサイエンス合宿はゴールではなく、今後の探究活動におけるスタートとなる行事です。この合宿で得たものを日々の授業で結びつけていければと思います。

